

テーマ：献身的に祈る者として成長し続けていくために

○キリスト者の捧げる祈り：祈りの姿勢と内容

1. 祈りの姿勢(2)

2. 祈りの内容(3-4)

1) _____を求める祈り(3a)

▶「同時に、私たちのためにも…」(新改訳2017版「同時に、私たちのために祈ってください」)

※1 コリント 15:10

「ところが、神の恵みによって、私は今の私になりました。そして、私に対するこの神の恵みは、むだにはならず、私はほかのすべての使徒たちよりも多く働きました。しかし、それは私ではなく、私にある神の恵みです。」

※2 コリント 3:5-6

「何事かを自分のしたことと考える資格が私たち自身にあるというではありません。私たちの資格は神からのものです。神は私たちに、新しい契約に仕える者となる資格を下さいました。…」

2) _____を求める祈り(3b)

▶「門」

※使徒 14:27

「そこに着くと、教会の人々を集め、神が彼らとともにいて行われたすべてのことと、異邦人に信仰の門を開いてくださったこととを報告した。」

※1 コリント 16:8-9

「しかし、五旬節まではエペソに滞在するつもりです。というのは、働きのための広い門が私のために開かれており、反対者も大ぜいいるからです。」

▶「キリストの奥義」

※コロサイ 1:26-27

「これは、多くの世代にわたって隠されていて、いま神の聖徒たちに現された奥義なのです。神は聖徒たちに、この奥義が異邦人の間にあってどのように栄光に富んだものであるかを、知らせたいと思われたのです。この奥義とは、あなたが見たの中におられるキリスト、栄光の望みのことです。」

※ガラテヤ 3:28

「ユダヤ人もギリシヤ人もなく、奴隷も自由人もなく、男子も女子もありません。なぜなら、あなたがたはみな、キリスト・イエスにあって、一つだからです。」

▶「私は牢に入れられています」

※ピリピ 1:12-13

「さて、兄弟たち。私の身に起こったことが、かえって福音を前進させることになったのを知ってもらいたいと思います。私がキリストのゆえに投獄されている、ということは、親衛隊の全員と、そのほかのすべての人にも明らかになり、」

3) _____ を求める祈り(4)

※エペソ 6:20

「私は鎖につながれて、福音のために大使の役を果たしています。鎖につながれていても、語るべきことを大胆に語れるように、祈ってください。」

※マタイ 28:19-20

「それゆえ、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。そして、父、子、聖霊の御名によってバプテスマを授け、また、わたしがあなたがたに命じておいたすべてのことを守るように、彼らを教えなさい。見よ。わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。」

※1 ペテロ 3:15

「むしろ、心の中でキリストを主としてあがめなさい。そして、あなたがたのうちにある希望について説明を求める人には、だれにでもいつでも弁明できる用意をしていなさい。」

「1844年11月、私は5人の回心のために祈り始めた。私は一日も休むことなく、病気であろうと健康であろうと、陸地であろうと海の上であろうと、仕事の重圧がどんなにであろうと、毎日祈った。最初の5人のうち1人が回心するまでに18か月が経過した。私は神に感謝し、他の人々のために祈り続けた。5年経ち、2人目が回心した。私は2人目のために神に感謝し、他の3人のために祈り続けた。毎日毎日、私は彼らのために祈り続け、3人目が回心するまでに6年経過した。私は3人目のために神に感謝し、残りの2人のために祈り続けた。この2人は回心しないままだった。それから36年後、ミュラーは、彼の友人の息子であった残りの2人が、未だに改宗していないことについてこう書き残した。「私は神に望みを抱き、祈り続け、答えを待っている。まだ彼らは回心していないが、やがて回心するだろう。」1897年、この2人のために毎日欠かさずに祈り始めてから52年後、ついに彼らは回心した——彼が亡くなった後のことだった。ミュラーは、祈りについてのたとえ話をルカが取りあげたとき、それが何を意味するのかを理解していたのだ。こうイエスは言われていた。「いつでも祈るべきであり、失望してはならないことを教えるために、イエスは彼らにたとえ話をされた。」(ルカ 18:1)。)(ジョージ・ミュラー)